

2014年5月15日

報道関係各位

河内長野市  
センコー・電通・アッティーヴォ共同連合体

センコー株式会社  
株式会社電通関西支社  
一般社団法人 a t t i v o

**河内長野市、センコー・電通・アッティーヴォ共同連合体と  
地域活性・交流拠点施設の管理運営に関する基本協定書を締結  
－施設の指定管理に伴う基本協定－**

河内長野市（大阪府河内長野市、市長：芝田啓治）は、河内長野市が設置する地域活性・交流拠点施設（所在地：河内長野市高向1218番地1、以下「拠点施設」）の管理運営に関して、センコー株式会社（所在地：大阪市北区、代表取締役社長：福田泰久）、株式会社電通関西支社（所在地：大阪市北区、取締役執行役員関西支社長：服部一史）、一般社団法人 a t t i v o（所在地：大阪府河内長野市、代表理事：杉本勇二）の3社で構成する施設の指定管理者『センコー・電通・アッティーヴォ共同連合体』（以下、「共同連合体」）と、基本協定書を締結しました。

拠点施設の指定管理者には、共同連合体構成員のこれまでの経験と能力を活かしながら、市民などに対するサービスの効果及び効率を向上させ、地産地消の推進による地域の活性化及び地域情報の発信等による交流人口の増加の促進を図ることが求められています。

拠点施設は、JA大阪南直営の農産物直売所を併設し、交流スペースやイートイン工房を備え、情報発信・集客・交流機能を担う「奥河内ビジターセンター」、「地産地消レストラン」、「交流農園」などから構成され、地域の魅力創造を図ります。（平成26年11月一部オープン、平成27年グランドオープン）（※別紙参照）

拠点施設の周辺には、大阪府立花の文化園や河内長野市立林業総合センター「木根館」、河内長野市立ふるさと歴史学習館（愛称：くろまる館）などの集客資源が集積していることと、「奥河内」の玄関口にふさわしい立地特性から、市域外からの交流人口の誘発と河内長野市民活動の活性化を促進し、ひいては定住人口の増加を図ることを目的としています。

共同連合体は拠点施設の管理運営を通じて、地産地消の推進による地域活性と広域集客を目指すとともに、農商工連携による六次産業の創出や、交流人口誘発を促進するための来場者参加型施策を展開します。

以上

## 河内長野市地域活性・交流拠点の概要

所在地：河内長野市高向1218番地1

敷地面積 21,931.284 m<sup>2</sup>うち 開発区域 17,704.740 m<sup>2</sup>

農産物直売所	延床面積	1,456.24 m <sup>2</sup>
	建築面積	1,579.97 m <sup>2</sup>
奥河内ビジターセンター	延床面積	385.19 m <sup>2</sup>
	建築面積	393.02 m <sup>2</sup>
地産地消レストラン	延床面積	175.00 m <sup>2</sup> (予定)
	建築面積	175.00 m <sup>2</sup> (予定)

客席数 奥河内ビジターセンター イートインコーナー 約30席  
 地産地消レストラン 約45席 (予定)

トイレ 男子トイレ 小5 洋2 和1  
 女子トイレ 洋6 和1  
 多目的トイレ 1ヶ所 (オストメイト対応)

おむつ換シート 1ヶ所

ベビーチェア 男女各1ヶ所

幼児用小便器 1ヶ所

授乳室 1ヶ所

駐車場

普通車 300台  
 大型車 6台  
 身障者用 5台  
 思いやり区画 2台

バイク自転車置き場 20台

&lt;ロゴマーク&gt;



奥河内  
 くろまろの郷  
*Kuromaro Village*

&lt;イメージパース&gt;

